

1.3版 2025年 11月5日

「急性心不全・慢性心不全患者におけるカルシウム・リン代謝動態が長期的な予後に与える影響に関する研究」に同意を頂いた患者さん・ご家族様へ

当院では、2012年から2013年に当院心臓血管内科心不全科に入院・通院されていた方を対象に、「急性心不全・慢性心不全患者におけるカルシウム・リン代謝動態が長期的な予後に与える影響に関する研究」を行いました。この研究期間は2018年12月31日に終了しましたが、引き続きこの研究の解析・検討を行い、結果を公表するため、この研究で取得した情報に関するカルテ情報を利用させていただきます。

この案内をお読みになり、この研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、ご遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2012年～2013年の間に、当院において「急性心不全・慢性心不全患者におけるカルシウム・リン代謝動態が長期的な予後に与える影響に関する研究」への参加に同意を頂いた方

【研究課題名】

急性心不全・慢性心不全患者におけるカルシウム・リン代謝動態が長期的な予後に与える影響に関する研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 臨床研究開発部 臨床研究企画室長 伊藤 慎

【研究の目的・意義】

この研究は、カルシウム・リンや、その調整因子が心臓や腎臓の病気の進行に与える影響を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、今後の心不全治療の発展に寄与する可能性があります。

【利用する診療情報】

「急性心不全・慢性心不全患者におけるカルシウム・リン代謝動態が長期的な予後に与える影響に関する研究」で取得した以下の情報を利用します。

年齢、性別、心不全重症度評価、基礎心疾患、併存疾患、内服薬、心臓超音波検査、心臓MRI検査、心臓カテーテル検査、予後評価、血液検査：血液一般検査（白血球数、白

血球数分画、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数)、血液生化学検査(肝機能検査:AST、ALT、総ビリルビン、直接ビリルビン、腎機能検査:クレアチニン、尿素窒素、尿酸、インドキシル硫酸、レニン・アルドステロン、電解質:血清ナトリウム、血清カリウム、血清クロール、リン代謝関連マーカー:カルシウム、リン、FGF 活性、副甲状腺ホルモン、ビタミン D、炎症マーカー:TNF- α 、IL-6、心不全マーカー:BNP)

その他、追加で収集する情報はございません。

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究期間】研究許可日から 2027 年 12 月 31 日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト(<https://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 臨床研究開発部 担当医師 伊藤 慎
電話 06-6170-1070